

しょう6 こくご「文章の要旨・筆者の主張」 その3

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

- 1 こま ひと み ゆうき だ こえ ちい しんせつ しゃかい
困っている人を見かけたら、勇気を出して声をかけたい。その小さな親切が、社会をあた
たかくしていく。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

しゃかい か ちい しんせつ しゃかい こえ
ア 社会は変わらない イ 小さな親切が社会をあたたくする ウ 声をかけないほうがよい

しんせつ
エ 親切はおせっかいだ こたえ _____

- 2 まいにち しょくじ おお ひと はたら ささ ひとこと かんしゃ
毎日の食事は、多くの人の働きに支えられている。「いただきます」の一言に、感謝の
こころ
心をこめたい。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

しょくじ あ まえ かんしゃ ひつよう しょくじ かんしゃ こころ
ア 食事は当たり前だ イ 感謝は必要ない ウ 食事に感謝の心をこめたい

エ あいさつはいらない こたえ _____

- 3 やくそく じかん まも あいて たいせつ おも きも あらわ じかん まも ひと まわ
約束の時間を守ることは、相手を大切に思う気持ちの表れだ。時間を守る人は、回りから
しんらい
信頼される。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

じかん まも あいて たいせつ おも やくそく
ア 時間を守ることは相手を大切に思うことだ イ 約束はやぶってよい

じかん まも しんらい かんけい
ウ 時間は守らなくてよい エ 信頼は関係ない こたえ _____

- 4 おな ものがたり よ ひと おも けしき どうかしや そうぞう ちから そだ
同じ物語でも、読む人によって思いえがく景色はちがう。読書は、想像する力を育てて
くれる。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

どうかしや そうぞう ちから そだ ものがたり おな み そうぞう やく た
ア 読書は想像する力を育てる イ 物語はみな同じに見える ウ 想像は役に立たない

ほん よ
エ 本は読まないほうがよい こたえ _____

5 ^{つか}使わない^{でんき}電気はこまめに^け消す。^{ちい}小さな^{せつでん}節電の^つ積み重ねが、^{かさ}大きな^{おお}エネルギーの^{せつやく}節約につながっていく。

^{ひっしや}筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{せつでん}ア 節電は意味がない ^いイ 電気は使い放題でよい

^{ちい}ウ 小さな節電の積み重ねが大きな節約になる ^{おお}エ エネルギーは無限だ ^{せつやく}こたえ _____

6 ^{ほん}本を読むと、^よ行ったことのない^い場所や、^{ばしよ}昔の時代のこと^{むかし}を知ることができる。^{じだい}読書はわた^ししたちの世界^{どくしよ}を広げてくれるのだ。

^{ひっしや}筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{むかし}ア 昔の時代はよかった ^{じだい}イ 本は高いので図書館で借りるべきだ

^{どくしよ}ウ 読書は世界を広げてくれる ^{せかい}エ 旅行に行くべきだ ^{ひろ}こたえ _____

7 ^たよくかんで食べると、^{しょうか}消化がよくなり、^{あじ}味わいも深まる。^{ふか}急がず ^{いそ}ゆっくり^た食べることを大切にしたい。

^{ひっしや}筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^たア よくかんでゆっくり食べることを大切にしたい ^{たいせつ}イ 早く食べるほうがよい

^{しょくじ}ウ 食事は関係ない ^{かんけい}エ かむ必要はない ^{ひつよう}こたえ _____

8 ^{ひと}人にはそれぞれ、^{とくい}得意なことも^{にがて}苦手なこともある。^{ちが}違いを認め合うことで、^{みと}みんなが^あ力を^{ちから}出せる。

^{ひっしや}筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{おな}ア みんな同じであるべきだ ^{ちが}イ 違いは悪いことだ ^{わる}ウ 苦手な人は必要ない

^{ちが}エ 違いを認め合うことが大切だ ^{みと}こたえ _____

9 ^{べんり} ^{どうぐ} ^{つか} ^{かた} ^{がい} ^{どうぐ} ^{ただ} ^{つか} ^{かた} ^し ^{つか}
どんなに便利な道具も、使い方をまちがえれば害になる。道具は正しい使い方を知って使うことが大切だ。

^{ひっしや} ^い ^{ようし}
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{どうぐ} ^{ただ} ^{つか} ^{たいせつ} ^{べんり} ^{どうぐ} ^{つか}
ア 道具は正しく使うことが大切だ イ 便利な道具は使わないほうがよい

^{あた} ^{どうぐ} ^{どうぐ} ^{つか}
ウ 新しい道具ほどすぐれている エ 道具はどう使ってもよい こたえ _____

10 ^{あた} ^{ちやうせん} ^{はじ} ^{いっば} ^{じぶん} ^{せかい} ^{ひろ}
新しいことに挑 戦すると、初めはうまくいかない。だが、その一歩が自分の世界を広げてくれる。

^{ひっしや} ^い ^{ようし}
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{せかい} ^{ひろ} ^{はじ} ^{かん} ^{ちやうせん}
ア 世界は広がらない イ 初めから完ぺきにできる ウ 挑 戦はしないほうがよい

^{ちやうせん} ^{いっば} ^{じぶん} ^{せかい} ^{ひろ}
エ 挑 戦する一歩が自分の世界を広げる こたえ _____

11 ^{ていねい} ^{ことば} ^{あいて} ^{たいせつ} ^{きも} ^{つた} ^{ばめん} ^あ ^{ことば} ^{えら}
丁寧な言葉づかいは、相手を大切にする気持ちを伝える。場面に合った言葉を選びたいものだ。

^{ひっしや} ^い ^{ようし}
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{ふよう} ^{ばめん} ^あ ^{ことば} ^{えら}
ア ていねいさは不要だ イ 場面に合ったていねいな言葉を選びたい

^{ことば} ^き ^{おな} ^{ことば}
ウ 言葉づかいは気にしなくてよい エ いつも同じ言葉でよい こたえ _____

12 ^{もんだい} ^と ^{よろこ} ^{おお} ^{かんが}
むずかしい問題ほど、解けたときの喜びは大きい。すぐにあきらめず、じっくり考えぬくことが大切だ。

^{ひっしや} ^い ^{ようし}
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

^{かんが} ^{もんだい}
ア 考えてもむだだ イ むずかしい問題はさけるべきだ

^{かんが} ^{たいせつ} ^{こた} ^み
ウ あきらめずじっくり考えぬくことが大切だ エ すぐ答えを見るべきだ こたえ _____

13 あさ 朝ごはんをめくと、^{あたま}頭がうまく^{はたら}働かない。^{たいおん}体温も^あ上がらず、^{ちから}力が出ない。^{あさ}だから朝ごはんは^{まいにち た}毎日食べるべきだ。

ひっしや 筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア ^{よる}夜ごはんの^{たいせつ}ほうが^{たいおん}大切だ イ ^あ体温は^あ上がらないほうがよい

ウ ^{あさ}朝ごはんを^{まいにち た}毎日食べるべきだ エ ^{あさ}朝は^{じかん}時間がない こたえ _____

14 ^{ねむ}しっかり眠った日は、^ひ頭が^{あたま}すっきりして^{がくしゅう}学習もはかどる。^{すいみん}じゅうぶんな睡眠は、^{まな}学びの^{どだい}土台だ。

ひっしや 筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア ^よ夜ふかしがよい イ ^ね寝る^{じかん}時間は^{すいみん}けずるべきだ ウ ^{かんけい}睡眠は関係ない

エ ^{すいみん}じゅうぶんな睡眠は^{まな}学びの^{どだい}土台だ こたえ _____

15 ^し知らない^{ことば}言葉に出^であったら、^ばその^{じしょ}場で^ひ辞書を^{しゅうかん}引く。この^{たし}習慣が、^{ことば}確かな^{ちから}言葉の^{そだ}力を^{そだ}育ててくれる。

ひっしや 筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア ^{じしょ}辞書を^ひ引く^{しゅうかん}習慣が^{ことば}言葉の^{ちから}力を^{そだ}育てる イ ^{じしょ}辞書は^{ひつよう}必要ない

ウ ^わ分からない^{ことば}言葉は^{はな}放^{ことば}っておいてよい エ ^{ちから}言葉の^{そだ}力は^{そだ}育たない こたえ _____

16 ^{はや}早ね^{はやあ}早起きは、^{からだ}体の^{せいかつ}リズムを^{たいせつ}ととのえる。生活の^{けんこう}リズムを^{どだい}大切に^{けんこう}することが、^{どだい}健康の^{どだい}土台になる。

ひっしや 筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア ^{かんけい}リズムは関係ない イ ^よ夜ふかしの^よほうがよい

ウ ^{せいかつ}生活の^{たいせつ}リズムを^{けんこう}大切に^{どだい}することが^{けんこう}健康の^{どだい}土台になる エ ^{けんこう}健康に^{どだい}土台は^{どだい}いらない

こたえ _____

- 17 あいさつをすると、相手も自分も気持ちがよくなる。あいさつは、人と人の心をつなぐ大切な入り口なのだ。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア あいさつは朝だけでよい イ 知らない人とは話さないほうがよい

ウ 大きな声を出すのは迷惑だ エ あいさつは人と人の心をつなぐ大切なものだ

こたえ _____

- 18 からだ うご ち なが きぶん あか てきど うんどう まいにち しゅうかん
体を動かすと血の流れがよくなり、気分も明るくなる。適度な運動を毎日の習慣にした
いものだ。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア 気分は運動と関係がない イ 運動はつかれるのでしないほうがよい

ウ 激しい運動ほど体によい エ 適度な運動を習慣にするとよい こたえ _____

- 19 にほん みず ゆた み じっさい つか みず かぎ みず たいせつ つか
日本は水が豊かに見える。しかし、実際に使える水は限られている。水を大切に使うこと
を心がけるべきだ。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア 日本には水が無尽にある イ 水は使うほどよい ウ 水道の水は飲めない

エ 水を大切に使うべきだ こたえ _____

- 20 はっぴよう まえ じゅんぴ き おお そな
発表がうまくいくかどうかは、前もっての準備で決まることが多い。しっかり備えて
本番にのぞみたい。

ひっしや い ようし
筆者がいちばん言いたいこと(要旨)は？

ア 準備は当日でよい イ 準備は必要ない ウ 本番は運で決まる

エ しっかり準備して本番にのぞみたい こたえ _____

こたえ しょう6 こくご「文章の要旨・筆者の主張」 その3

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 イ 小さな親切が社会をあたたかくする | 12 ウ あきらめずじっくり考えぬくことが大切だ |
| 2 ウ 食事に感謝の心をこめたい | 13 ウ 朝ごはんを毎日食べるべきだ |
| 3 ア 時間を守ることは相手を大切に思うことだ | 14 エ じゅうぶんな睡眠は学びの土台だ |
| 4 ア 読書は想像する力を育てる | 15 ア 辞書を引く習慣が言葉の力を育てる |
| 5 ウ 小さな節電の積み重ねが大きな節約になる | 16 ウ 生活のリズムを大切にすることが健康の土台になる |
| 6 ウ 読書は世界を広げてくれる | 17 エ あいさつは人と人の心をつなぐ大切なものだ |
| 7 ア よくかんでゆっくり食べることを大切にしたい | 18 エ 適度な運動を習慣にするとよい |
| 8 エ 違いを認め合うことが大切だ | 19 エ 水を大切に使うべきだ |
| 9 ア 道具は正しく使うことが大切だ | 20 エ しっかり準備して本番にのぞみたい |
| 10 エ 挑戦する一歩が自分の世界を広げる | |
| 11 イ 場面に合ったていねいな言葉を選びたい | |